

海と暮らすライフスタイルの提供による移住・定住促進

「ひと」の流れ

東京都心から約1時間半というアクセスの良さ、年間を通じた温暖な気候、海の魅力と豊かな自然環境を有する館山市は、移住・定住だけでなく、二地域居住[※]にも適した場所です。

海のもたらす恵みを享受し、ゆとりと潤いのある「館山ならではの」、海と暮らすライフスタイルを提案し、館山市への人の流れを生み出すため、移住相談体制の充実、移住希望者への支援強化、移住しやすい環境の整備、空き家バンク制度の利用促進、移住・定住に係る情報提供・PRの強化を図ります。

【具体的な施策内容（主な事業等）】

- 移住に係る相談体制の充実
- 移住希望者への支援強化
- 移住しやすい環境の整備
- 空き家バンク制度の利用促進
- 海の魅力を活かした定住促進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
移住相談件数	141件	200件

海の魅力テーマとした外国人観光客の誘致

「ひと」の流れ

成田・羽田両国際空港から2時間以内という地理的優位性と、鏡ヶ浦越しに望む夕景の富士や「鮫の町・館山」など、外国人観光客の興味・関心をひきつけることができる館山市の潜在力を十分に発揮し、インバウンド[※]を強化していくため、観光スポットや飲食店・宿泊施設等を掲載した英文パンフレットの作成や体験観光のブラッシュアップ[※]による観光メニューの充実、外国人向けモニターツアー[※]の実施、**公共施設へのWi-Fi[※]整備**など、外国人観光客の受入態勢の充実を図ります。

【具体的な施策内容（主な事業等）】

- 外国人観光客向け情報発信の強化
- 外国人観光客向け観光メニューの充実
- 外国人観光客の受入態勢の整備

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
外国人宿泊客数	759人	2,000人
公共施設（市有公衆トイレ等）へのWi-Fi整備支援箇所数	—	（5カ年累計） 5カ所

➡ 安心して楽しめる海の魅力の向上

「ひと」の流れ

魅力あふれる館山の海を、安心して存分に楽しめるように、海岸利用者のマナー向上対策や津波対策を強化し、安全・安心な環境を確保します。

また、陸と海を結ぶ交流拠点「“渚の駅” たてやま」（国土交通省「みなとオアシス[※]」認定）の機能強化、旅客船の定期航路化や寄港船舶の増加に向けたポートセールス[※]、沖ノ島の貴重な自然資源保護のための取組等により、海の魅力のさらなる向上を図ります。

【具体的な施策内容（主な事業等）】

- 津波対策の強化
- 交流拠点「“渚の駅” たてやま」の機能強化
- 館山港の整備・利用の促進
- 海岸利用者のマナー向上対策
- 海路の充実
- 沖ノ島の環境整備

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
「渚の駅” たてやま」年間来館者数	14.8万人	40万人

➡ 個性豊かな海の魅力を活かした観光振興

「ひと」の流れ

館山市の重要な観光資源である美しい砂浜・海岸を維持し、海水浴を始めとするマリッジャーやブルーツーリズム[※]の推進を図るとともに、「ウミホタル観察会」や「釣り大会」などの海を活用した事業の開催、「館山湾花火大会」や「南総里見まつり」、「たてやま海まちフェスタ」など、館山市ならではの特色あるイベントの開催により、観光振興を図ります。

また、北条海岸芝生広場などの海岸エリアにおける美と健康・食をテーマとしたにぎわいの創出、海岸線を巡るツーリング[※]コースの環境整備、レンタサイクル乗り捨てシステムの構築等により、地域資源に磨きをかけ、館山市への交流人口の増加を促します。

特に、レンタサイクル乗り捨てシステムについては、サイクルツーリズム[※]の促進のため、安房地域が一体となった広域的な連携のもと、推進していきます。

さらに、貴重な観光資源の一つである自然景観の保全と、南欧風の景観形成を推進するため、海辺エリアを重点地区とした景観計画を策定します。

【具体的な施策内容（主な事業等）】

- マリンレジャーを活用した観光振興
- 観光関連事業者への支援
- サイクルツーリズムの推進
- ブルーツーリズムの推進
- 海岸利活用事業
- **景観計画策定事業**

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
観光イベント実施件数 （参加者数1万人以上のもの）	2件	3件
観光イベント来場者数	24万人	26万人
レンタサイクル貸出台数	3,600台	4,000台

➔ 商業・工業の活性化によるまちの元気創造

「しごと」の創出

まちなか再生事業の実施や商店街の環境整備の推進など、市・商工会議所・商店街・地域おこし協力隊[※]等と連携し、地域の商店及び商店街の魅力を高める取組を支援するとともに、商工関係団体や中小企業事業者の組織強化、経営安定化に向けた支援により、地域経済の活性化・発展を目指します。

【具体的な施策内容（主な事業等）】

- 中小企業・商工団体支援
- 商業・工業の競争力強化支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
空き店舗数	82店舗	80店舗

➔ 若者のアイデア・行動力を活かした地域活性化の推進

「ひと」の流れ

地域おこし協力隊[※]の活用や館山市で生まれ育った若者の交流機会の創出、地域で活躍する若者のネットワーク化等により、若者のアイデア・行動力を活かした地域活性化を推進するとともに、若者の地元定着及びUJIターン[※]等の促進を図ります。

また、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に事業協力機関として参画し、千葉大学との連携による新たな雇用創出や若者の地元定着を図ります。

【具体的な施策内容（主な事業等）】

- 地域おこし協力隊制度の活用による若者の移住促進
- 若者の交流機会の創出
- 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
地域おこし協力隊委嘱者累計数 ^{注)}	10人	12人

注) 事業開始年度からの委嘱者累計実績。

➔ 出会い・婚活支援

結婚・出産・子育てのしやすい「まち」

社人研の出生動向基本調査（2010年）（以下「出生動向基本調査」という。）によれば、我が国の独身男女の約9割は結婚の希望を持つとされますが、出会いの場の減少や晩婚化の進展などにより、希望を実現できていないのが現状です。

結婚に対する希望を実現させるため、既存の観光資源を連携させ、地域の新たな魅力づくりによる交流人口の増加等を目指す「恋人の聖地[※]」の活用や、出会い・婚活事業の支援などにより、独身男女の出会いの場を提供するとともに、地域の活性化や移住・定住の促進、結婚奨励による少子化対策を図ります。